

# 持続可能な社会を目指す

## 現代的な課題に対応した題材

活用単元や「書写活用ブック」の題材として、防災・安全やキャリア教育、人権・福祉など現代的な課題に対応したものを取り上げています。  
**SDGs (持続可能な開発目標)** について考えることにもつながります。

### 防災・安全

「防災訓練に参加しよう」 P.75～77  
 ↓11 住み続けられるまちづくりを

### 環境

エネルギーに関する新聞 活用ブック P.4  
 ↓7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

### 国際理解

多言語対応に関する手紙 活用ブック P.2  
 世界の文字文化 裏表紙裏  
 ↓4 質の高い教育をみんなに

### 情報活用

インターネット活用に関するリーフレット 活用ブック P.5  
 ↓9 産業と技術の基盤をつくる

### キャリア教育

「職場訪問をしよう」 P.45～47  
 「仕事の中の手書き文字」 P.84～85  
 ↓4 質の高い教育をみんなに

### 人権・福祉

地域のバリアフリーへの取り組みを発表するポスター 活用ブック P.6  
 ↓3 すべての人に健康と福祉を



### 人権・福祉

#### 山口市広まるバリアフリー

1年4組 川口理香  
 「誰もが安全に安心して快適に暮らし、互いを支え合うまち」

① 市内調査

- バリアフリーが整備されている施設
- 山口情報芸術センターの取り組み

分りやすい案内表示	車椅子などの専用駐車場	授乳室の設置	点字ブロックの経内案内
-----------	-------------	--------	-------------

② 山口市の取り組み

- 市民参加型の調査アンケート調査や、ワークショップの開催
- 観光客に向けて、旅客施設や公共交通など、不特定多数の利用者に向けた配慮。

③ 私たちができること

物質的な整備だけでなく、さまざまな立場の人の考えや思い、期待や意識を高める必要がある。ワークショップなどには積極的に参加をし、理解を深めたい。

活用ブック P6

### 国際理解

拝啓 新緑の候、栃木自然資料館の皆様にはお元氣でお過ごしのこと存じます。

さて、先日質問をさせていただきました貴館で取り組まれている、外国人観光客への環境作りにつきまして、ご親切にお答えいただきありがとうございます。特に、多言語に対応した案内表示の整備などは、とても重要だと思いましたが、教えていただいた気配りの大切さを、生活の中で生かしていきたいと思っております。

末筆ながら、皆様のご健勝をお祈り申しあげます。敬具

五月二十日

第一中学校 水野なつき

活用ブック P2

### 防災・安全

生活に広げよう

防災訓練に参加しよう

目標 書写で身につけた力を活用し、さまざまな場面でも活用できるようにしよう。

2年

- 準備の話合いをする
- 多人数に集まる
- 当日の準備をする
- 調べたことを発表する

75

### キャリア教育

動物園飼育員 佐藤和加子さん

どんなお仕事をされていますか

オオカミやキツネ、アライグマなどの獣舎を担当しています。日々の飼育を行うだけではなく、来園者に動物のことをより知ってもらうために、手書きの看板を作っています。毎春の三週間の閉園期間に、まとめて制作します。

どのような手書き看板を作っていますか

内容について決まりはなく、獣舎の担当者それぞれに任されています。絵や写真をたくさん使った看板、骨などの実物を貼った看板や変わった形の看板など、目を引くための工夫を凝らした個性豊かな看板が並んでいます。例えば、私は動物の身体の特徴を伝えたいので、「北海道に生息するユキウサギの脚は、ふかふかの雪の上を歩いても埋もれないようにするため、とても長く、後ろ脚が大きく広がっています」というような説明や、各個体の見分け方などをまとめています。

なぜ手書きで看板を作るのですか

ふだん動物の世話をして、「この動物のこういふところがすごい」「かわいい」と感じている飼育員が自ら手書きで制作することで、動物の魅力がより伝わる看板ができるのだと思います。手書きの文字は、印刷された文字よりも温かい印象を抱いてもらえるのではないのでしょうか。

P94～95